

第6分科会

女性のエンパワーメントから考える

21世紀の社会を創る大学教育

コーディネーター：在間 敬子 氏（京都産業大学 経営学部 教授）

報告者：福永 朱里 氏（企業経営・広報コンサルタント（元）株式会社パーソン・マーステラ 代表取締役社長）

神原 理 氏（専修大学 商学部 教授）

竹安 栄子 氏（京都女子大学 特命副学長）

二村真理子 氏（東京女子大学 キャリア・センター長/東京女子大学 現代教養学部 教授）

分科会概要：

近年、女子の大学入学者数は増加しており、企業や社会での活躍が期待されている。国連持続可能な開発目標SDGsにも高等教育の推進や女性のエンパワーメントが含まれている。女性が活躍できる社会の構築は、よりよい社会づくりへの第1歩であると考えます。そこで、本分科会では、特色あるキャリア教育や支援、ビジネス教育、生涯を見据えたりカレント教育に携わる方々、および、企業で活躍してこられた方からお話を伺う。それを踏まえ、「主体的に学び活動する人材」を育成する大学教育について議論し、21世紀の大学教育のあり方を考える。

各登壇者の報告テーマとプロフィール（登壇順）

●神原 理 氏 「女子学生へのビジネス教育の実践から」

専修大学商学部マーケティング学科教授。専門分野はマーケティング。主著に『サービス・マーケティング概論』（編著、ミネルヴァ書房）、『ビジネス・アイデア・ストーミング：ビジネス教育におけるアクティブラーニング』（デザインエッグ社）等。専修大学「HEIB講座」において女子学生へのビジネス教育に長く携わった。

●二村 真理子 氏 「東京女子大学のキャリア教育・支援」

東京女子大学現代教養学部国際社会学科教授。2016年より東京女子大学キャリア・センター長。専門分野は環境経済学・物流論。博士（商学）（一橋大学）。主著に「運輸部門の地球温暖化問題への対応：パリ協定への対応」『運輸と経済』(77(2), pp.129-135, 2017年)等。『東京女子大学100年史』の編纂にも携わった。

●竹安 栄子 氏 「女性のためのリカレント教育の経験から」

京都女子大学現代社会学部教授を経て、2015年より地域連携研究センター長、2017年より特命副学長(国際化推進事業)(地域・産官学連携事業)。社会人女性向けの学び直しプログラム「リカレント教育課程」を立ち上げた。専門分野は社会学。主著に『日本の女性議員』（共著、朝日新聞社）、『介護と家族』（共著、早稲田大学出版部）等。

●福永 朱里 氏 「『人』一人一人を尊重できる社会づくりを可能にする教育」

JP モルガン アジア太平洋統括広報部長、日産自動車 広報部長・グローバル広報戦略部長、パーソン・マーステラ 代表取締役社長等を歴任。2019年に独立し、企業の経営者向けに広報アドバイスを提供する「株式会社パスエード」を設立。代表取締役兼 CEO。『「社長の評判」で会社を伸ばすー戦略的企業広報の活用法』（レスリー・ゲインズ=ロス著)(翻訳、日本経済新聞社)。